

松名瀬(8月8日)

AQUA SOCIAL FES !! in 松名瀬 2015 (8月8日)

1 目的

三重県松阪市にある松名瀬海岸は、伊勢湾最大級の干潟を有している。この干潟は海浜植物や水生生物、鳥類などにより豊かな生態系が築かれていることから、環境省より「日本の重要湿地 500」に指定されている。

しかし、潮干狩りや海水浴で賑わうこの干潟は、不法投棄ゴミや上流および海洋からの漂着ゴミが目立つようになり、水環境が悪化してきており、干潟に生息する生物の生態系が脅かされている。

そのため、地元の小中学生、地域住民、企業・団体と協働で海岸・干潟の清掃活動を行う。また、松名瀬干潟に生息する植物や動物について参加者に紹介し観察を行うことにより、自然豊かな水環境を未来に残すための意識の啓発を行う。

2 実施日

平成 27 年 8 月 8 日(土) 9:30~12:00

(小雨決行、荒天の場合は 9 月 26 日(土)に実施)

3 実施場所

三重県松阪市松名瀬町 松名瀬海岸・干潟

4 実施内容

(1) 当日の実施日程 (8月8日)

08:00~	スタッフ集合、打ち合わせ
09:00~09:30	受付
09:30~10:00	開会式
10:00~10:50	環境学習
10:50~11:40	清掃活動
11:40~	イベント終了・解散 (閉会式なし)



開会式での挨拶

(2) 参加団体・参加人数

本部スタッフ	4 人
松阪市	6 人
三重県	7 人
松阪ユネスコ協会	26 人
環境 ISO 学生委員会	41 人
三重中学校・高校	84 人
トヨタ・伊勢新聞	171 人
総計	339 人



参加者の記念撮影

(3) 環境学習

三重中高教諭の小西伴尚先生と同校科学技術部の生徒に準備、指導していただいた。AからFまでの6つのグループに分かれ、それぞれのグループに科学技術部の生徒2人～3人が指導担当をして、同じ内容で同時進行で学習会を実施した。

(学習の流れ)

①全員、干潟の大気や地面の温度を感じながら、耳を澄ませて干潟に生息する生物の息遣いを聞き取る。その後、グループで参加者同士の感想の交流をする。10分

②干潟に入って、干潟に生息する生物の観察と採集をする。10分



環境学習 1



環境学習 2



環境学習 3



環境学習 4

③採集した生物および科学技術部が前もって準備しておいた生物の特徴や生態などの説明を聞く。疑問点について質疑応答があった。10分

◎アサリとハマグリと海水の浄化作用の実験：

環境学習が始まる前に、米でんぷんを混入した海水のビーカー3個を、それぞれ、アサリ入り、ハマグリ入り、何も入れないとし、学習終了後に、それぞれのビーカーに入った海水の様子を観察した。



(写真：左からハマグリ、アサリ、何も入れない)

明らかに、アサリやハマグリが入ったビーカーの海水は、透明度が良く、浄化されていることが分かった。

(4) 清掃活動

環境学習終了後、全員で清掃活動をした。ゴミ袋や火ばさみは、受付時に既に配布済みである。環境学習中、火ばさみは各グループごとに保管し、ゴミ袋は各自のアクワバックなどに入れて携帯していた。

(中には火ばさみで干潟の生き物を掴む光景も見られた。)

環境 ISO 学生委員会の旗が立つ範囲を全員で、海岸のゴミ拾いをし、ゴミの分別をした。真夏の海岸でもあるので、およそ 40 分ぐらいの清掃作業をして、特に閉会式は行わずに、丁度、12 時にハンドマイクによる朴センター長の終了の挨拶をもって、事業を終了した。



海岸清掃 1



海岸清掃 2



海岸清掃 3

(5) 安全対策

- ・ イベント(傷害)保険への加入 (損保ジャパン日本興亜佐田保険事務所)
- ・ 看護師の常駐 (三重県看護協会三重県ナースセンターより 1 名派遣)
- ・ 保健室、休憩所の設置 (本部および保健室用テント)
- ・ 駐車場誘導(市、県)、海岸監視員(学生委員)の配置
- ・ トイレの確保 (海の家、漁協所有のトイレを利用)

(6) 広報活動

- ・ AQUA SOCIAL FES!! in 松名瀬 2015 のチラシの配布
- ・ 環境 ISO 学生委員会のホームページ
- ・ 次の 5 団体に直接の声掛けによる
(松阪市、三重県、伊勢新聞(トヨタ販売店)、三重中高、松阪ユネスコ協会)

(7) 各団体の役割分担

(松阪市)

事前挨拶 (小藪松名瀬自治会長、大橋漁協組合長、海の家)

ゴミ処理依頼 (松阪市清掃事業課)

消防署への事前報告

駐車場・トイレの確保

大型テント2張、マイク、拡声器、ゴミ袋(黄色400枚)、水(312本)

(当日) 駐車場誘導

(三重県)

全体進行 (松阪市と協調して行動していただく)

駐車場・トイレの確認

バス乗降場所、清掃場所等の確認

(当日) 駐車場誘導

(伊勢新聞社・トヨタ販売)

トヨタ関係全般

受付用机5脚、ASFセット(ビブス、タオル、軍手、飲料水キーパー)参加者数

飲料水の注文・購入・設置(参加者数)

(当日) 受付・駐車場誘導・記念撮影

(三重中高)

環境学習全般 (コンテンツ、資料、道具・器具、各グループの説明担当)

トランシーバー

(当日) 環境学習実施

(環境 ISO 学生委員会)

チラシ制作

ゴミ集積場所確認

火ばさみ(350本)、ゴミ袋(400袋)、ビブス、軍手、名札

看板(誘導用、受付用、分別用、危険物用)、ISO旗・土台、駐車コーン

トランシーバー、カメラ、拡声器、缶穴あけ器、スコップ

救急箱、軍手回収用段ボール箱、注射器入れ用ペットボトル

受付用名簿、ごみ記録用紙、ボールペン、黒マジック

(当日) 受付、司会、参加者案内・誘導、ごみ関係全般、参加者の体調を観察

(主催スタッフ)

開催ガイドの作成 (チラシの原稿)

参加団体との連絡・交渉 (市、県、伊勢新聞、三重中高、松阪ユネスコ、学生委)

バス手配 (三重大学スクールバス 7:30~14:00)

保険手配 (1日イベント保険) 保健師手配

担架準備、受付用名簿 (各団体別6種3部ずつ)

当日進行シナリオ

(8) 参加者への提供物品

(貸出)

火ばさみ、ゴミ袋、ASF 参加者認定用ビブス

(配布)

ASF セット(タオル、軍手、ペットボトルキーパー、ビニール肩掛け袋)

ミネラルウォーター

(9) 中止の際の連絡

前日対応：18:00 に緊急連絡網の各団体の代表に連絡、以下各団体対応。

当日対応：07:00 に緊急連絡網の各団体の代表に連絡、以下各団体対応。

5 成果と課題

文字通り、産官学民の連携でみんなが心を一にして環境学習や清掃活動に参加できたことは大きな成果だったと考える。また、真夏の海辺で長時間の作業であったのにもかかわらず、誰一人として熱中症などの参加者が出なかったことも、事前や当日の優れた体制だったということも意義あることである。

環境学習と清掃作業の二つの活動を通して、環境保全の意識が深まったことは、活動中の参加者の声からも確認でき、自然豊かな水環境を未来に残すための意識の深まりが感じられた。

運営面で、各団体による役割分担も全般的にはスムーズに実行されたが、少し実行が遅い面もあり迷惑をかけることもあったので、実行の先を見通して確実に作業を実施していくことを心掛けたい。次回の実践に繋げていきたい。

6 資料

案内チラシ (別紙 1)

会場配置図 (別紙 2)

当日の進行管理表 (別紙 3)

当日の司会進行シナリオ (別紙 4)

当日配布の

環境学習資料 (別紙 5)

活動の記録 (ビデオ画像)